

令和 8 年 1 月 26 日

交野市長 山本 景 様

交野市環境マネジメントシステム監査チーム

主任監査員 多田羅 正彦

令和 7 年度交野市環境マネジメントシステム 監査報告書

1. 監査日程

令和 7 年 1 1 月 1 7 日(月)午前 9 時 3 0 分から午後 4 時 3 0 分

2. 監査目的

交野市環境マネジメントシステム（以下「K－EMS」という。）を導入し、交野市が管理運営及び保有する施設に勤務するすべての者を対象に、事務事業における温室効果ガス削減と環境負荷低減に重点を置いた取組が実施されている。

そこで、K-EMS による取組方法及び実施状況について、特にエネルギー使用量の多い施設について、監査チームによる取組方法及び実施状況の確認を行うものです。

3. 監査対象

実施部署施設（4 部署・4 施設）

部署	対象施設	摘要
まなび舎整備課	小中学校	実地監査
ミズノ株式会社(スポーツ青少年課)	総合体育施設	実地監査
スポーツ青少年課	青年の家・武道館	実地監査
こども園課	あさひ・くらやまこども園	実地監査

4. 監査チーム

	氏名	所属等	氏名
交野市民	多田羅 正彦	NPO 法人木野環境	丸谷 一耕
交野市民	荻田 寿子	NPO 法人木野環境	菱田 哲
交野市 財産管理室	景山 洋平	NPO 法人木野環境	宇高 史昭
交野市 企画財政部 秘書政策課	井上 直斗	事務局 環境部 環境衛生課	宮根 由香
		事務局 環境部 環境衛生課	宮下 優介

市民2名、交野市職員2名、有識者（NPO 法人木野環境）3名、事務局2名 計9名

5. 監査スケジュール

9:30～10:10 オープニングミーティング 監査概要説明、予定確認 （事務局）
10:10～10:30 監査施設へ移動
10:30～11:30 監査実施 ①
移動
12:00～13:00 昼食休憩、移動
13:00～14:00 監査実施 ②
移動
14:10～14:30 監査結果とりまとめ （監査チームミーティング）
14:30～15:15 監査結果とりまとめ （全体ミーティング）
15:15～16:00 監査結果概要報告とりまとめ作業 （木野環境）
16:00～16:30 クローズミーティング 多田羅主任監査員から交野市環境部長へ監査結果(速報)報告、
環境部長コメント発表

6. 監査所見

貴市におけるエネルギー使用量の多い施設の省エネルギー対策などについて、現状の取組、対策の実施状況、今後の予定等を実地で聴取し、また記録などを確認して、K-EMS マニュアルに基づく事務事業における温室効果ガス排出量の削減と環境負荷低減に向けた取組が、有効かつ適切に運用されていることを確認しました。

7. 監査結果

判定区分	件数	概 要
指 摘	1 件	(部署・施設名 ミズノ株式会社 [スポーツ青洲課・総合体育施設]) 【6.2 各部署での取組】 (法令遵守) (根拠: マニュアル 6.2. (2). 6)) ・産業廃棄物の排出にあたっては法に基づきmanifestoが発行されますが、令和6年11月20日及び同年12月20日の排出分については、manifestoのA票及びE票が確認できませんでした。また、当施設の排出分と組織以外のmanifestoが混在して保管されており、産業廃棄物管理票交付等状況報告の実施主体が不明確であるなどの状況も見受けられました。そのため、産業廃棄物の管理について、担当部署とその部署の役割などを明確にする必要があります。
改善・提案	2 件	(部署・施設名 ミズノ株式会社 [スポーツ青洲課・総合体育施設]) 【2 対象とする範囲】 (根拠: マニュアル 2) ・総合体育施設いきいきランドの指定管理者であるミズノ株式会社の担当者にヒアリングを行ったところ、環境方針や取組の基本方針などは従業員に周知されていませんでした。当該施設は市の施設であることから、指定管理者の従業員に対しても、K-EMSの運用にあたって、取組等について周知する方法等を検討する余地があります。

		【6.2 各部署での取組】 (法令遵守) (根拠:マニュアル 6.2. (2). 6)) ・廃棄物管理については、産業廃棄物の契約書やマニフェスト管理等は前回監査時と同様の状況が続いており、改善が必要です。
適合・優良	12 件	【6.1 全職員が実践する取組】 (廃棄物排出量の削減) (根拠:マニュアル 6.1. (7). 1)) ・青年の家では、利用者への要請も含めて、ごみの排出量が年々減少傾向にありました。〈スポーツ青少年課〉 【6.2 各部署での取組】 (省エネ) ・夏季に遮熱効果があるグリーンカーテンの栽培に取り組んでいました。〈こども園課〉(参考:マニュアル 6.2. (1). 1)) ・青年の家の空調は各室個別管理とし、設定温度を固定して利用されるように運用されていました。〈スポーツ青少年課〉(参考:マニュアル 6.2. (2). 1)) ・エアコンの入替、LED の導入、断熱改修など順調に進んでいました。〈まなび舎整備課〉(参考:マニュアル 6.2. (2). 2)) ・ESCO 事業の活用により、大規模な設備更新が行われていました。その結果として、電力使用量が最大で月約 50%削減されていました。また、ボイラーをばい煙測定の義務の無い規模に変更するなど多くの環境負荷削減が実施されていました。〈ミズノ株式会社 (スポーツ青少年課)〉 (参考:マニュアル 6.2. (2). 2)) ・武道館では、LED 照明, ガスヒートポンプ方式の空調設備の導入などの施設改修が予定されていました。〈スポーツ青少年課〉 (参考:マニュアル 6.2. (2). 2)) ・空調設備や食洗機、アプリ等の導入など、保育ニーズの変化に対応しながら、環境負荷を下げる取組が計画、実施されました。〈こども園課〉(参考:マニュアル 6.2. (2). 2)) (節水) (参考:マニュアル 6.2. (2). 2)) ・青年の家では、トイレ改修が予定されていますが、節水型になることが期待できます。〈スポーツ青少年課〉 (省資源) (参考:マニュアル 6.2. (1). 1)) ・毎月行われる給食会議の中で食品ロスが少ない給食メニューを検討されていました。〈こども園課〉

	・環境事業所と連携した5歳児クラスに対する出前授業やごみ分別教育が行われていました。〈こども園課〉 ・保護者との連絡においてアプリ導入によるペーパーレス化が図られていました。〈こども園課〉 (環境学習) (参考:マニュアル6.2.(1).1)) ・保育現場では様々な環境活動を積極的に展開しておられました。〈こども園課〉
--	--

●総括コメント

(環境方針及び目標達成に向けて)

○照明設備のLED等への改修工事が予定され、今後の省エネ効果が期待できます。しかし、交野市地球温暖化対策実行計画【事務事業編】では、2030年度までに温室効果ガス50%削減を掲げており、現状の省エネ改修だけでは、目標達成が難しい状況です。そのため、以下の取組をご検討ください。

- ・公共施設で予定されている屋上の防水工事では、同時に断熱工事をされること等をご検討ください。(全体・事務局)
- ・市全体の事務事業での2030年度までのエネルギー使用量削減目標を達成するために、再生可能エネルギーの導入計画をご検討ください。(事務局)
- ・各施設では窓ガラスも多く、その断熱改修による省エネ効果は大きいことから、導入を検討する余地があります。(全体・事務局)
- ・ESCO事業を活用し効果的な設備更新が行われ、環境負荷低減が着実に行われている施設もあります。今後もそのような取組を検討する余地があります。(全体・事務局)

(法令遵守)

○市の事務事業から排出される廃プラスチックは産業廃棄物と考えられます。廃棄物処理の方法を整理する必要があります。(全体・事務局)